

# Janmadin kī Jay Jay!

## ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！

グルマーイの誕生日のお祝いの報告  
シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム  
2016年6月23－30日

### 第6部

#### 歓喜のお祝い ジャネット・ドーブル

吉兆な6月24日の朝が、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに訪れました。そして自然のすべてが祝っていました。

青い空には一片の雲もなく、夏の太陽は金色にキラキラと輝き、完璧でした。空気は暖かく、花盛りの木々からは芳香が漂っていました。私は特に、アートマ・ニディの正面の入り口のすぐ横にある、ヤマボウシの木に気づきました。この木の純白の花々は全開で、生気にあふれ、それはちょうどグルの誕生を祝う私たちの心のようにでした。

グルマーイのお誕生日を祝うサツァングに参加するために、私がシュリー・ニーラーヤに入っていくと、ホールは興奮で沸き立っているようでした。誰も彼もとても幸せそうで、鮮やかな色のクルターやサーリーや洋服を着て、とても輝いてい

ました。人々の顔は外の太陽のようにきらめいて、明るく、晴れやかで美しく見えました。

そのとき、グルマーイが入って来ました。愛と熱意で迎えた私たちの反応は計り知れないものでした。私たちの最愛のグルの到着です。私たちは立ち上がって、「お誕生日おめでとうございます、グルマーイ！」と歓呼しました。私たちは拍手をして、歓声を上げ、グルマーイは両手を挙げて振り、その顔はうっとりするような美しい笑みを浮かべて輝いていました。熱意にあふれた「サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！」の歓声が3回、ホール中に響き渡りました。

グルマーイはにこやかな子どもたちの笑顔を見回しました。彼女は、昨晚ムンバイから着いた二人の男の子たちはどこにいるのと聞きました。彼らは、「ここにいますよ、グルマーイ！」と言いながら、走り寄ってグルマーイに抱き付きました。素晴らしいのびのびした自発的な愛の表現で、それを見た私たちは全員、喜んで笑いました。

グルマーイは席に着くと、サツァングの音楽指揮者であるクリシュナ・ハダッドにほほ笑みました。グルマーイは、ミュージシャンの団体に「オーム・ナモー・バガヴァター・ムクターナンダーヤ」をブーパリー・ラーガでチャンティングし始めるように言いました。

チャンティングが始まり、私たちの声は響き渡りました。この音楽には、こよない甘美さと豊かさが含まれています。チャンティングが進むにつれて、感動的な祝いの意気はより燃え上がるばかりでした。

私たちの喜びがシュリー・ニーラーヤに満たされるにつれて、「シュリー・グル・ギーター」のある節が頭に浮かびました。

*Yatsatyena jagatsatyarñ  
yatprakāśena bhāti tat,  
Yadānandena nandanti  
tasmai śrīgurave namaḥ.*

シュリー・グルに敬意を。  
グルの实在により世界は存在し、  
グルの光により世界は照らされ、  
グルの喜びにより人々は喜ぶ。<sup>1</sup>

そして私たちは何という喜びに満たされていたことでしょう。チャンティングが完了すると、全員立ち上がって歓喜と拍手で叫びました。「グルマーイ、お誕生日おめでとうございます！」

私たちが席に着くと、タブラーがダンスのリズムを奏しているのが聞こえました。参加者の一人が立ち上がって、楽しそうに「豊かさ」と呼び上げました。するとホールの違った場所から、もう一人の参加者が、「均衡」と呼び上げました。私たちは、神聖なる美德——サッドグナ・ヴァイバーヴァー——が呼び上げられているのだと気がつきました。スワームィたち、理事たち、子供たち、スタッフの人たち、訪問セーヴァイトたちが、順番に立ち上がって美德を一つずつ呼び上げました。

スワームィ・ヴァスデーヴァーナンダが 6 月 24 日の美德——「浄福」——を呼び上げると、ダイアン・マッキンタイアが踊り始めました。ダイアンは有名なダンサーで

---

<sup>1</sup> *Shri Guru Gita*, verse 36. *The Nectar of Chanting* (SYDA Foundation: South Fallsburg, NY, 1983), p. 17.

あり、振り付け師で、シッダ・ヨーガの道を何年間も学んでいます。ダイアンの「浄福」の解釈は美しく、優雅で、自由で喜びがあふれていました。

美德、「信頼」が呼び上げられると、シュリー・ニーラーヤにいた理事たち全員が一緒に立ち上がり、確固とした決意で一斉に声を合わせて、「団結」と宣言しました。ホールは拍手で鳴り響きました。私たちは、昨日グルマーイが要求した、シッダ・ヨーガの理事たちは全員団結して働くように、という言葉が実行されているのを見て感動しました。

一つ一つの美德が呼び上げられるごとに、ホールの雰囲気はいかにもお祝いらしく、歓喜にますますあふれたものになっていきました。ですから、最後に神聖なる美德、「熱意」が呼び上げられると、世界中のサンガムが毎年グルマーイの誕生日に歌うバジャン、「ナーチャー・レー・メーロー・マナ」をミュージシャンの団体が演奏し始めたのは、とても適切でした。リフレインの言葉はこう言っています。

踊ろう、心よ、今日、恍惚(こうこつ)となって踊ろう！  
愛は昼も夜も音楽で満たす  
そして世界はそのメロディーを聴いている。

グルマーイが作曲した、カビールの愉悅のバジャンを皆で歌いました。それは、私たちの最愛のグル、シュリー・グルマーイを祝う私たちの心の超越した喜びの完全なる表現でした。

次へ続く...